



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東 札

上場会社名 北海道コカ・コーラボトリング株式会社  
 コード番号 2573 URL <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 佐々木 康行  
 (氏名) 矢野 恭弘  
 配当支払開始予定日

TEL 011-888-2051  
 平成27年9月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	27,709	1.0	277	327.2	296	254.3	△4	—
26年12月期第2四半期	27,433	6.7	65	37.3	83	10.5	64	—

(注)包括利益 27年12月期第2四半期 15百万円 (△87.3%) 26年12月期第2四半期 123百万円 (547.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	△0.12	—
26年12月期第2四半期	1.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	47,043	36,055	76.6
26年12月期	46,640	36,259	77.7

(参考)自己資本 27年12月期第2四半期 36,055百万円 26年12月期 36,259百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
27年12月期	—	6.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,900	△4.6	1,000	△9.2	1,000	△10.4	400	△34.4	10.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年12月期2Q	38,034,493 株	26年12月期	38,034,493 株
27年12月期2Q	1,504,398 株	26年12月期	1,504,193 株
27年12月期2Q	36,530,273 株	26年12月期2Q	36,530,929 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項につきましては、添付資料の3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）におけるわが国経済は、設備投資や雇用者所得については、昨年の消費税増税の反動減もあり回復基調を維持しており、個人消費については、貴金属やブランド品などが好調に推移しているものの、生活用品などの消費財については、原材料の高騰などによる値上げの影響もあり、依然として伸び悩んでいる状況です。

清涼飲料業界では各メーカーの販売促進費の積極的な投入による価格競争など、激しいシェア争いが続き、厳しい市場環境が続きました。

このような状況のなかで当社グループは、チャネルにおける専門性の向上とエリア特性への対応力強化を目的に、営業部門の組織改編を行い、既存市場における当社商品のシェアを高める活動と、新規顧客の獲得による売上の拡大をはかる活動に注力しました。

具体的な活動としては、スーパー・ドラッグチャネルにおいては、収益性の高い定番棚の獲得に注力し、自動販売機事業において、エリアマーケティングを活用し地域の特性に応じてパッケージや品ぞろえの展開を進めるとともに、競合メーカーと併設している場所については、当社グループのオペレーション力を生かした1社管理提案や、備蓄水ボックスやAED（自動体外式除細動器）搭載自動販売機などのBCP（事業継続計画）に関する提案を推進することで売上の拡大をはかりました。

新たな顧客獲得に向けた活動としては、インターネット等を利用した宅配サービス「グッと楽便（らくびん）」により、生活者に密着した営業を行うことで清涼飲料需要の発掘を行いました。

新商品としては、近年の健康志向の高まりをうけ、植物由来の甘味料「ステビア」を使用した「コカ・コーラライフ」の発売に続き、市場拡大傾向にあるフレーバーウォーターのニーズに対応するため、「い・ろ・は・すとまと」を発売し、主要ブランドの強化をはかりました。また、国産茶葉を100%使用し、烏龍茶本来の深い味わいを楽しめる「つむぎ」や、熱中症対策に加えて安心・安全への意識の高まりを受け、産地までこだわった15種類の国産果実と野菜のエキスなどで作ったカラダにやさしい水分補給飲料として「T o r e t a ! (とれた!）」を発売しました。

地域との結びつきを深める活動については、知床世界自然遺産の環境保全を目的とした、「自動販売機の売上金の一部を知床世界自然遺産の環境保全活動へ協賛する協定」に基づき2015年5月に、斜里町・羅臼町に合わせ1百万円を寄付しました。また、2015年5月には、「さっぽろまちづくりパートナー協定」に基づき、札幌市円山動物園の環境教育活動と賑わいづくりを通して、子ども達の未来を応援する事を目的に、「ミニッツメイドQ o o (クー) どうぶつデザイン」の売上金の一部、2百万円をさっぽろ円山動物園サポートクラブに寄付しました。

以上の様々な活動を実施した結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、小売店における販売拡大が寄与し、277億9百万円（前年同期比1.0%増）となりました。営業利益は、売上増に加え、原価低減など徹底したコスト削減により、2億7千7百万円（前年同期比327.2%増）、経常利益は2億9千6百万円（前年同期比254.3%増）、四半期純損失は、固定資産除売却損や税金費用の計上などにより、4百万円（前年同期は6千4百万円の四半期純利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、470億4千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加のほか、販売機器の更新等による有形固定資産の増加及びそれに伴う現金及び預金の減少などによるものです。

負債は、109億8千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億6百万円増加いたしました。これは主に、退職給付に係る負債や未払金、未払法人税等が減少したものの、買掛金が増加したことによるものです。

純資産は、360億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円減少いたしました。これは主に、配当金の支払により利益剰余金が減少したことによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結結果計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ30億8千2百万円減少し、66億2千1百万円になりました。

活動ごとのキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりです。

#### 《営業活動によるキャッシュ・フロー》

営業活動によって得られた資金は、2億9千3百万円（前年同期は10億9千万円の収入）になりました。これは、減価償却費17億9千5百万円、仕入債務の増加6億7千9百万円などに対し、たな卸資産の増加9億5千9百万円、売上債権の増加8億2千3百万円などがあったことによるものです。

#### 《投資活動によるキャッシュ・フロー》

投資活動の結果によって使用した資金は、29億6千万円（前年同期は18億2百万円の使用）になりました。これは、販売機器等の有形固定資産の取得による支出25億9千8百万円などによるものです。

#### 《財務活動によるキャッシュ・フロー》

財務活動の結果によって使用した資金は、4億1千5百万円（前年同期は3億9千7百万円の使用）になりました。これは、配当金の支払額2億1千7百万円、リース債務の返済による支出1億9千7百万円などによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年2月6日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,708	6,625
受取手形及び売掛金	4,967	5,869
商品及び製品	4,140	4,787
原材料及び貯蔵品	331	643
繰延税金資産	337	261
その他	1,957	2,311
貸倒引当金	△13	△18
流動資産合計	21,428	20,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,952	6,772
機械装置及び運搬具(純額)	3,962	3,893
販売機器(純額)	4,313	4,612
土地	5,998	6,580
建設仮勘定	237	833
その他(純額)	1,744	1,890
有形固定資産合計	23,208	24,582
無形固定資産		
ソフトウェア	267	275
その他	11	11
無形固定資産合計	278	287
投資その他の資産		
投資有価証券	673	665
長期貸付金	213	199
繰延税金資産	231	176
その他	626	676
貸倒引当金	△22	△24
投資その他の資産合計	1,723	1,692
固定資産合計	25,211	26,562
資産合計	46,640	47,043

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,877	3,556
未払金	2,026	1,912
未払法人税等	284	138
設備関係未払金	567	810
その他	2,174	2,201
流動負債合計	7,931	8,619
固定負債		
資産除去債務	91	89
退職給付に係る負債	958	805
環境対策引当金	-	1
その他	1,399	1,472
固定負債合計	2,450	2,368
負債合計	10,381	10,988
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	4,924	4,924
利益剰余金	29,466	29,243
自己株式	△902	△902
株主資本合計	36,423	36,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	148
退職給付に係る調整累計額	△312	△293
その他の包括利益累計額合計	△164	△144
純資産合計	36,259	36,055
負債純資産合計	46,640	47,043



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	27,433	27,709
売上原価	18,072	18,275
売上総利益	9,360	9,433
販売費及び一般管理費	9,295	9,155
営業利益	65	277
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	8	10
受取賃貸料	11	18
その他	32	46
営業外収益合計	55	77
営業外費用		
支払利息	1	0
固定資産除却損	20	27
寄付金	8	13
その他	6	16
営業外費用合計	37	58
経常利益	83	296
特別利益		
固定資産売却益	168	1
投資有価証券売却益	-	1
その他	1	-
特別利益合計	170	3
特別損失		
固定資産除売却損	12	46
減損損失	-	4
その他	0	2
特別損失合計	13	53
税金等調整前四半期純利益	240	246
法人税、住民税及び事業税	120	126
法人税等調整額	55	124
法人税等合計	175	251
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	64	△4
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64	△4

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	64	△4
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	0
退職給付に係る調整額	66	19
その他の包括利益合計	58	20
四半期包括利益	123	15
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123	15
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	240	246
減価償却費	1,821	1,795
減損損失	-	4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5	7
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△51	△117
受取利息及び受取配当金	△12	△12
固定資産除売却損益(△は益)	△135	72
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△1,347	△823
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,253	△959
仕入債務の増減額(△は減少)	1,926	679
未払消費税等の増減額(△は減少)	21	△96
長期未払金の増減額(△は減少)	△36	△2
その他	341	△145
小計	1,519	647
法人税等の支払額	△429	△353
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,090	293
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,662	△2,598
有形固定資産の売却による収入	220	30
無形固定資産の取得による支出	△25	△98
資産除去債務の履行による支出	△0	△0
投資有価証券の取得による支出	△10	△1
投資有価証券の売却による収入	-	1
貸付けによる支出	△178	△26
貸付金の回収による収入	61	32
利息及び配当金の受取額	12	12
その他	△219	△313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,802	△2,960
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△177	△197
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△218	△217
その他	△1	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△397	△415
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,109	△3,082
現金及び現金同等物の期首残高	9,225	9,704
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,115	6,621

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの事業は、北海道を主な販売地域とする清涼飲料の製造・販売並びにこれらに付帯する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。